

令和5年度 南の丘学園袋井市立袋井南中学校 学校評価書

視点	経営目標・具体的取組	評価指標	評価	学校経営の状況に関する考察と来年度への改善策等
自立 【主体性】	1 南の丘学園一貫教育 (1) 4つの承認の強化 (2) あいさつ・返事・笑顔 (3) 不登校生徒の減少	<input type="checkbox"/> 楽しい学校 <input type="checkbox"/> 明るいあいさつ	A	<ul style="list-style-type: none"> 学校が楽しいという評価は昨年度を上回っています。 生徒主体のユニットによるあいさつ運動を進められました。 不登校についても改善傾向は見られるが課題の一つです。
	2 自分事として学ぶ授業 (1) 袋井型授業づくり (2) ICTの効果的な活用	<input type="checkbox"/> 主体的な学習習慣 <input type="checkbox"/> よくわかる授業	B	<ul style="list-style-type: none"> 全国学調・袋井学調は国県の平均を上回りました。来年度は「探究的な単元デザイン」を視点到に授業改善を進めます。 来年度も日記アプリ「フォーサイト」を活用して、主体的な学習習慣の育成を図ります。
友愛 【社会性】	3 自他のよさを認め合う集団づくり (1) 道徳・学活の充実 (2) 校則の見直し	<input type="checkbox"/> 互いを認め合う態度 <input type="checkbox"/> 生徒も学校経営に参画	A	<ul style="list-style-type: none"> 多様性が認められる集団づくりを、今後も心掛けます。 日記アプリ「フォーサイト」で生徒とつながりを深めます。 こども基本法の施行を踏まえ、新制服導入。来年度も校則改善を生徒主体で継続します。
	4 生徒主体の特別活動 (1) 自分たちで創る活動 (2) 学園リーダーズミーティング	<input type="checkbox"/> 自ら企画してやりぬくたくましさ <input type="checkbox"/> 失敗を恐れず挑戦する態度	A	<ul style="list-style-type: none"> 生徒が主体的に取り組むユニット活動を推進しています。 学園小中のリーダーが話し合い、学校生活の改善を進める取組を主体的に行っています。 学園を笑顔にするモザイクアートを実現できました。 生徒会が「能登半島地震募金」。
勤労 【創造性】	5 主体的なキャリアデザイン・社会参画 (1) 振り返りの実施 (2) キャリア教育の充実 (3) 社会参画の奨励	<input type="checkbox"/> 将来の夢や目標	A	<ul style="list-style-type: none"> 夢や目標については、未来授業や職場体験等の体験活動が実施できるようになりました。 今年度は体験活動や3回のSouth Dreamを充実させることができました。
	6 信頼される学校 (1) 安心安全な学校 (2) 3ゼロ+2徹底 (3) 学校HP等で情報発信 (4) 地域連携の推進	<input type="checkbox"/> コンプライアンス <input type="checkbox"/> 適正な会計処理 <input type="checkbox"/> 積極的な情報発信 <input type="checkbox"/> 地域連携	A	<ul style="list-style-type: none"> いじめや体罰ハラスメント調査及び交通安全自己点検を行い、今後もコンプライアンス意識の向上を継続します。 学校HPやコドモンによる情報発信を推進しました。地域との連携も一層推進します。
働き方改革	7 働きやすい学校 (1) 業務削減 (2) DXの推進	<input type="checkbox"/> 超過勤務時間削減 <input type="checkbox"/> 業務改善の推進	A	<ul style="list-style-type: none"> 超過勤務時間は大幅に改善しました。月超過平均45時間以下を実現できています。 教育課程の改善を行い、通年で部活動終了時刻16:30に。希望があれば30分の延長可能。5時間授業を増やし、部活動の時間確保にも配慮しました。
<p>【学校運営協議委員からの意見と提言】</p> <ul style="list-style-type: none"> 不登校への支援を充実させるためにサポートルームを充実させたい。地域人材が多く関わるとよい。小中が一貫校になり、充実した学校施設を創りたい。高校や専門学校、大学との積極的な交流を推進したい。 体験活動を重視した、人としての教育が今後も必要。人と接点がある教育活動を充実させたい。人の温かみを教えることが大切である。農業体験などの自然体験をする教育活動はできないか。 地域や家庭、学校が三位一体となることが一層必要だ。ウェルビーイング構想を具現化してほしい。教育予算の拡充を市にはお願いしたい。教員不足では良い教育はできない。 				

① 学校が楽しい

	R5 1学期	R5 2学期
生徒	88 (52)%	90 (56)%
保護者	88 (35)%	87 (37)%

(増加傾向)
※新規不登校出現は減少、外部連携改善

④ 授業に主体的に取り組んでいる

	R5 1学期	R5 2学期
生徒	89 (38)%	89 (39)%
保護者	79 (24)%	77 (22)%

(同程度)

⑤ 授業がよくわかる

	R5 1学期	R5 2学期
生徒	88 (37)%	85 (37)%
保護者	69 (13)%	69 (14)%

② みんなで何かをするのは楽しい

	R5 1学期	R5 2学期
生徒	94 (66)%	95 (70)%
保護者	92 (48)%	90 (46)%

(増加傾向)

③ 自分から進んで行動したり挑戦したりしている

	R5 1学期	R5 2学期
生徒	76 (27)%	82 (28)%
保護者	75 (20)%	72 (25)%

(増加傾向)

⑨ 行事に自ら進んで取り組んでいる

	R5 1学期	R5 2学期
生徒	89 (44)%	91 (56)%
保護者	86 (34)%	86 (40)%

(増加傾向)



⑩ 将来の夢や希望を持っている

	R5 1学期	R5 2学期
生徒	75 (40)%	74 (43)%
保護者		

①静岡ブルーレブズ代表 山谷拓志氏
②袋井市出身の映画監督 池田千尋氏
③中東遠医療センター院長 宮地正彦氏

・いじめ、体罰、ハラスメント調査の実施
・メール配信アプリ「コドモン」の導入
・日記アプリ「フォーサイト」の導入
・コミュニティセンターとの連携
・地域ボランティアや体験活動の充実 (南CCの南風館まつり参加、高南CCでのGゴルフ体験・ポッチャ体験など)

【超過勤務時間平均時間】
R3：月57時間、年574時間
R4：月54時間、年543時間
R5：月39時間、年386時間
【具体的改善内容】
①部活動の終了時刻を勤務時間内に
②業務削減：定期テスト回数減
③日記アプリ：フォーサイト導入
④PTA改革：時間外会合の廃止